



C：ローマ数字で100を表す

「いよいよ1本立ちの日がきました」

温かく育ててくれた吉武お母さん菊池お父さんから、私達もいよいよ一本立ちの樹齢になりました。会の名前が意味するように、栄区に緑豊かな里山や森を育てる山守として、未永く活動を続けたいと思います。 2005.04.01 No13 (編集委員)

こじゅけい通信12号までは当会の広報(編集)委員が作成せず、吉武さん、菊池さんに頼っていました。No13が当会の会員のみにて作成した最初の号で、明確に巻頭言と明記されていませんが、実質当会最初の巻頭言でした。

次回の予定 ● 元年7月、8月活動予定

① 日時: 7月14日(日) 9:00~14:30 定例作業

- ・集合場所: 池の下広場倉庫前 ・集合時間: 9:00
- ・作業場所: 道場丸エリア斜面地
- ・作業目的: 景観保全型落葉広葉樹林を目指した森づくり作業
- ・作業内容: ボランティア塾生への保全作業の指導
 - : 斜面地のネザサの皆伐と片付け
 - : 危険木(枯れ木)2本の除伐作業
- ・持ち物: 常備具(カマ・手ノコ・ナタ)、お弁当、飲料水、防虫スプレー、他必需品
- 【持参器具】 作業旗、シート、救急箱、チルホール、カケヤ、刈込みバサミ、剪定バサミ、チェーンソーは下記2台を使用します。
 - CS42RS(山上・三島担当機)・CS260T(佐谷・小嶋担当機)

※ 塾生の受入れ準備、打合せを行ないますので30分早く集合して下さい。

② 日時: 7月28日(日) 8:30~12:00 定例作業

- ・集合場所: 飯島町光が丘会館 ・集合時間: 8:30
- ・作業場所: 飯島町光が丘会館付近
- ・作業目的: 住宅地のみどり環境の保全作業(活動資金確保のため)
- ・作業内容: 植栽の剪定・街路樹の枝落し
- ・持ち物: 常備具(カマ・手ノコ・ナタ)、飲料水、防虫スプレー、他必需品
- 【持参器具】 刈込みバサミ、トリマー、剪定バサミ

※ 28日は少しでも涼しい時間に作業をしたいので集合時間が違います。宜しくご協力をお願い致します。

③ 日時: 8月3日(土) 9:30~15:00 臨時活動

- ・集合場所: 栄消防署 ・集合時間: 9:30
- ◇保全作業の安全を期するための講習会
 - ・救命救急講習会の受講(9:30~12:00)
 - ・森づくりでの危険作業に関する安全講習(13:00~15:00)
- ・持ち物 講習会受講カード、筆記用具、飲み物、お弁当

◇保全作業の実を上げるための親睦会(別途案内済み)

・納涼会(会場: 海福 集合時間 17:30)

(元年7、8月号の原稿に関し、上記活動報告は石渡氏、巻頭言は浅見氏、リレートークは小嶋氏です。原稿の締め切りは元年8月20日(火)です。押木氏迄宜しくお願いします。)

欠席される方は、メール(TOKAMI6666@aol.com)又は電話(894-2800)で山上部会長迄

【瀬上さとやまのり会の会 活動日誌】

(1)平成31年4月28日(日) 晴れ 9:30~12:40 いっしんどう広場

・参加者: 浅見、伊藤、枝村、岡、小宅、酒巻、佐谷、高嶋、竹内、戸賀澤、長谷川、丸山、三島、山上 14名

・活動内容 ●写真撮影、ラジオ体操し、本日の作業内容の説明後、作業道具を持ち移動。

●林野庁の交付金申請用の写真撮影のため大丸場経由でいっしんどう広場に行く班と道場丸広場経由でいっしんどう広場に行く班に分かれて移動。

●:作業責任者と補佐:枝村、小宅。

●10時半頃から作業開始し、休憩を取り、12時頃まで作業。その後昼食取り、解散。

●打合せ事項: ○東芝メモリー社員(30名)を2回(5/26、6/23)に分け受け入れ林床整理作業を実施、○例年の通りに8月に安全講習を実施し終了後納涼会を行う(詳細未定、決定次第通知)、○安全管理者を各作業日毎に2名決め、作業安全を確保(実施済)。



これから作業をします



今日の富士山は最高



安全に留意して作業中

(2)令和元年5月12日(日) 晴れ 9:25~12:45 公田竹林

・参加者: 浅見、石渡、伊藤、枝村、岡、小宅、小嶋、酒巻、佐谷、高嶋、竹内、武内、戸賀澤、長谷川、三島、山上、山田、渡邊、渡部 19名 区役所: 高木係長、鋤柄、安井 3名

・活動内容 ●山上の挨拶と係長から挨拶(メンバー紹介とグリーンサポーター制度での受け入れ依頼等)後、本日の作業内容の説明があり、その後3班に分かれて移動し、作業開始。

●作業責任者と補佐:山上、酒巻。

●途中小休憩を挟み、12時頃まで作業し、終了。区役所関係者とは解散。

●打合せ、昼食をし、解散。蹴飛ばし作業で得られたタケノコは参加者で戴き、分配。

●打合せ事項: ○8/3(土)救急救命講習と安全講習を栄消防署で実施し、夕方から納涼会を予定、○上郷開発に関する説明会が5/17(金)、5/18(土)に行われる、○今年度の会員名簿の作成、○休会員には納涼会、新年会等のイベントへの参加連絡や参加時の費用負担依頼、○区役所安井氏よりグリーンサポート制度(学校、企業等のエコ活動への支援)への手

助け依頼について:東芝メモリーから15名×2回(5/26、6/23)の里山活動を手助け、カマを使っての下草刈、除草作業を予定、○森愛護会から除草作業(場所:5ヶ所、回数:年2回(6月と10月))を請負、費用を受ける、○横浜市(環境創造局)の貸与品の募集については砥石、防錆剤、ゴーグル等を依頼、○古くなったヘルメットの交換が必要。



作業開始前のミーティング



蹴飛ばし作業中



蹴飛ばされたタケノコ

(3) 令和元年5月26(日) 晴れ 9:30~13:00 いっしんどう広場氷取り沢側斜面地

・参加者: 伊藤、枝村、高嶋、竹内、戸賀澤、長谷川、三島、山上、渡邊、渡部 10名

区役所: 高木、鋤柄 2名 東芝メモリー: 13名

・活動内容 ●山上が挨拶し、当会の概要等を紹介。区役所高木係長の挨拶とグリーンサポート制度による研修生の受入れ等の経緯の説明。

●ラジオ体操後、本日の作業を説明:○2名につき1名の当会会員が付く、○カマを使用してササ等を刈る林床整理の作業を実施、○熱中症防止の為に水分補給に留意する等の安全事項、その後各自道具を持参し、班分かれしていっしんどう広場へ移動。10時頃到着し、作業開始。

●途中2回休憩を挟み、11時半に作業を終了し。渡邊らが閉めの挨拶をし、研修生は解散。

●昼食後、いっしんどう広場の周りのツツジ等を刈込み、剪定を半時間程度行い、12時半頃荷をまとめ、道場丸広場へ移動。

●6/9の作業について現場を下見し、作業内容を把握。その後下山し、13時過ぎ解散。



受講生と一緒に作業中



作業終了後の記念写真



食後の選定作業

(4) 令和元年6月9日(日) 曇り後雨(霧雨時折日差し) 9:30~ 道場丸広場

・参加者: 浅見、伊藤、岡、小宅、酒巻、佐谷、高嶋、武内、三島、山上、渡邊、渡部 12名

・活動内容 ●写真撮影や体操をし、本日の作業内容を説明し、作業地へ移動。

●ササ刈りを中心に、不要なアカメガシワ、イチイ等の幼木伐採(平米当り各種裏位1本程度)し、コドラート内の植物を調査。

●打合せ事項: ○7/14のボラ塾生受け入れ場所は道場丸広場、不要木の伐採の為にチルホ

ール持参、○7/28 に飯島町光が丘会館の植栽、街路樹等の剪定、伐採作業を予定、○8/3 に救命講習、安全講習、納涼会を予定、○大丸広場の植栽は来年1月か2月に行い、それ迄に植樹苗の根回し等準備。



作業前のコドラート



慎重にコドラート内のササ刈り



なぜカウシマソウの群落が

(5) 令和元年6月23日(日) 曇 9:30~12:30 いっしんどう広場西側斜面地

・参加者: 浅見、伊藤、枝村、岡、小宅、佐谷、酒巻、高嶋、戸賀澤、武内、三島、山上、渡邊、渡部
14名 区役所: 高木係長 1名 東芝メモリー 19名

・活動内容 ●山上が挨拶し、当会の概要等を紹介。区役所高木係長の挨拶と経緯の説明。

●ラジオ体操後、本日の作業内容を説明(ササ等の不要な草木の除伐や熱中症防止の為に水分補給等安全事項を含めて)し、各自作業道具を持ち9時半過ぎに移動。

●いっしんどう広場に到着後、2名1組として班分けをし、各班に当会会員1名が付く。作業内容を再度説明し、併せてカマの使用方法(安全事項も)も説明。

●10時頃から12時頃まで作業、途中3回の休憩を取る。渡部らが挨拶をして研修生は解散。

●別途、伊藤、三島、渡邊、渡部は早く集合し、8時半より10時40分まで森愛護会指定の草刈り場所(中尾根3ヶ所、大丸広場2ヶ所)で除草作業を実施。

●昼食後打合せをし、その後大丸広場経由で桜の伐採後の植樹(コブシ、ヤブデマリ、マユミ等)を見て、下山し解散。

●打合せ事項: ○7/14(定例作業日)作業地は道場丸広場で、チェーンソー作業となり、ボラ塾生を受け入れるため、集合時間は9時、○7/28は飯島町光が丘会館の樹木の剪定、雑草刈り、作業は午前中で終了予定、○8/3 救急救命講習、安全講習、納涼会の参加者は申し出ること、○道場丸広場のコドラート内のモニタリング調査については間に合うように南部公園事務所に申込む。



珍しくヤマコリが咲いていた



横一列になってササ刈り



サッパリした作業後

(伊藤、枝村記)

◆ リレートーク 「瀬上の植物」

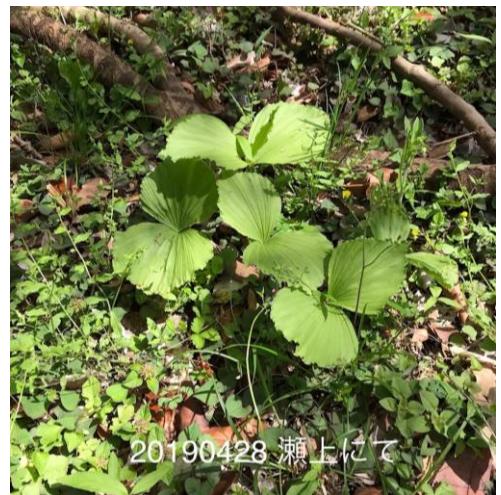
岡 相子

瀬上市民の森には沢山の植物があります。最近では杉の木に大鷹の営巣が確認されていますが、年々確認出来る植物の種類は減ってきています。希少種は更に急激に減っているようです。

瀬上の森では 明るい林間にはヤマユリ、川の近くにはヤマツツジ・サルナシ・カントウカンアオイ・アカショウマ、湿地にはミヤマシラスゲ・ハンゲショウ・タカネマスカサ・コシロネ・クサネム、田んぼにはタコノアシ・アカバナ、川沿いにはツクバトリカブトやヨゴレネコノメが生えています。すべてはあげきれませんがどれも日本の里山からどんどん数の減っている種です。それぞれの好む環境に出ているのですから、減っているのは環境が変わってきているからでしょう。

しかし減るだけでもないようで 昨年絶滅危惧種であるクマガイソウの葉を見つけ、今年も見ることができました。突然でたのか今までもあったのかは不明ですが 環境が合えば少しずつ増える種です。クマガイソウに合う環境は冬には良く日が当たり夏にはすっかり葉の陰になるような場所。すなわち落葉樹林です。整備する事で地面に日が当たるようになったのでしょうか？

今の環境を守り また、新たな種が出られる環境を作る。ボランティア活動を通じこれからの瀬上の森を楽しみにしています。



◆ 編集後記

今年の梅雨は未だ梅雨らしくありません。夏は暑く冬は寒く、春に芽が出て秋に葉が色づく、このように毎年同じ現象が繰り返されることに一種の安心感があります。しかし異常現象が繰り返されると定常的現象となり普通の現象となり、逆にこれまで普通であった現象が異常現象になります。ちょっと怖い気がしますが
(枝村)